



個人懇談について

全国的に新型コロナウイルス感染症の陽性者数が増加し、第7波の到来かと心配されている状況です。保護者の皆様には、日々の感染対策や健康管理、念のための自宅待機等にご協力いただきありがとうございます。さて、このような状況下ではありますが、お子さんの1学期の様子についてお話させていただきたく、予定通り14日（木）、15日（金）、19日（火）に個別懇談を行います。以下のご協力をお願いいたします。



- ・ご自宅または職場を出る前にご自身で体温を測定いただき、体調に異変がないことを確認してからお越しください。熱・せき症状がある場合は、来校を控え、その旨ご連絡ください。
- ・児童玄関から校内に入り、手指の消毒または手洗いをしてください。
- ・校内ではマスクを着用ください。
- ・懇談は10分程度となります。スムーズな進行にご協力いただき、懇談後は速やかに校舎外に退出ください。

なお、感染リスクの高い家族がいる等の理由で、対面での懇談に不安を感じてみえる保護者の方がいらっしゃいましたら、成績表を渡す方法の変更等について一緒に検討させていただきますので、担任までご相談ください。

タブレットについて



情報活用能力育成のツールとして、一人1台のタブレット端末の貸与が全国で進み、現段階では、如何に授業で活用できるかということが課題となっています。本校でも、調べたことをまとめるのに使ったり、課題に対して一人一人が考えた意見を、学級全体で共有する場面に使ったりしています。キーボード入力が難しい低学年においては、タッチペンを使って入力するなど、1年生においてもノートや鉛筆と同じ文房具感覚でタブレットを使う機会を作っています。

夏季休業中は、タブレットとアダプターを各家庭に持ち帰ります。例えば、「ドリルパーク」というコンテンツには、基礎・応用の練習問題がたくさん入っており、解答状況に合わせてそれぞれが苦手としている問題を作成してくれるなど、1学期に学んだ学習内容を定着させるためには最適なものとなっています。子どもたちは、朝学習の時間などで日常的に取り組んでおり、使い方には慣れてしています。その他、楽しくプログラミングについて学ぶことができる「こにゅうどうくん学びの部屋」というコンテンツもあります。長期休業中にお子さんがタブレットを活用している機会があれば、画面を一緒に覗いていただき、有効な活用ができるよう声をかけていただけるとありがたいです。一方で、タブレットは、ゲームや映像を観ることに使えてしまいます。家庭負担でのデータ使用料がかさむという問題もありますので、あらかじめ各家庭で、一日の使用時間帯をお子さんと約束するなど、依存にならないよう見守りをお願いします。

タブレットは、2学期が始まりましたら学校に持ってきてもらいますが、アダプターは、2学期以降も各ご家庭での保管となります。9月から、タブレットを持ち帰ったときには、ご家庭でフル充電いただき、次の日、充電済みのタブレットのみを持たせてください。タブレット・アダプター共に市からの貸与品ですので、アダプターも年度末には返却いただきます。破損・紛失した場合は、実費での弁済をお願いすることになりますので大切に扱っていただきますようお願いいたします。